

- 総合的な学習の時間の内容を計画する上で、どのような点に留意したらよいか。

総合的な学習の時間の内容については、学習指導要領には次のとおり示されている。

2 内容

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。

このことから、目標の実現にふさわしいと各学校が判断した学習課題を定める必要がある。

★ 学習課題とは

横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究的に学習することがふさわしく、そこでの学習や気づきが自己の生き方を考えることに結び付いていくような、教育的に価値のある諸課題

例えば

国際理解，情報，環境，福祉・健康などの横断的・総合的な課題，生徒の興味・関心に基づく課題，地域や学校の特色に応じた課題，職業や自己の将来にかかわる課題

<ポイント>

- 国際理解，情報，環境，福祉・健康などの横断的・総合的な課題とは
社会の変化に伴って切実に意識されるようになってきた現代社会の諸課題
- 生徒の興味・関心に基づく課題とは
生徒がそれぞれの発達段階に応じて興味・関心を抱く課題
- 地域や学校の特色に応じた課題
地域の歴史，伝統，文化，行事，生活習慣，産業，経済などにかかわる，各地域や各学校に固有な諸課題
- 職業や自己の将来にかかわる課題
義務教育の最終段階にある生徒にとって，切実かつ現実的な課題

なお、内容を定める際に留意することとして、

- ① 日常生活や身近な社会とのかかわりを重視し、その時々により最適な学習課題が何かを、適宜、判断する。
- ② 例示を参考にしつつ、地域や学校、生徒の実態に応じて内容を見直し定める。
- ③ 各学校においては、生徒の学習状況に応じた適切な指導を行うとともに、総合的な学習の時間における評価結果等を基にして、その改善を円滑に実施する。
- ④ 各学校においては、内容を指導計画に適切に位置付ける。その際、学年間の連続性、発展性や小学校、高等学校との接続、各教科等との違いや関連性などに配慮して、内容を定める。